

# 塩沢庁舎発電機屋根新設工事

設計図

令和4年度





9 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)~(表9.3.3)
3 合成高分子系M-フィッティング防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)
4 塗膜防水 (9.4.3)(9.4.4)(9.4.5)(9.5.2)(表9.5.1)(表9.5.2)
5 シーリング (9.7.2)(表9.7.1)
6 防水の保証等 (9.7.5)
10 1 天然石張り (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)
2 テラゾ張り (10.2.1)(表10.2.2)
3 床及び階段の石張り (10.6.2)(表10.6.2)
11 セラミックタイル (11.2.2)
2 壁タイル張り工法 (11.2.7)(表11.2.3)
3 コンクリート素地面の処理 (11.2.7)
12 1 表面仕上げ (12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)
2 製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)

3 造作用集成材 (12.2.1)
4 造作用単板積層材 (12.2.1)
5 直交集成板 (12.2.1)
6 合板等 (12.2.1)
「製材の日本農林規格」以外の製材
「集成材の日本農林規格」による普通合板
「集成材の日本農林規格」による普通合板
「集成材の日本農林規格」による普通合板
「集成材の日本農林規格」による普通合板

6 合板等 (12.2.1)
7 接着剤 (12.2.2)(12.2.3)
8 防錆・防蟻処理 (12.3.1)(12.3.2)
13 1 長尺金属板葺 (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)
2 折板葺 (13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)
3 とい (13.5.2)(表13.5.1)
14 1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験 (14.1.2)
2 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)
3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)
4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)
5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.3)(表14.4.2)

6 金属成形板張り (14.2.1)(表14.2.1)
7 7M30M製空木 (14.7.2~3)(表14.2.1)(表14.7.1)
8 手すり及びタラップ (14.2.1)(14.8.2~3)(表14.2.2)
15 1 床コンクリートの直均し仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)
2 仕上げ塗料仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)
3 しっくい塗り (15.6.2)
16 1 見本の製作等 (16.1.4)
2 防犯建物部品 (16.1.6)
3 7M30M製建具 (16.2.1)(表16.2.1)
4 樹脂製建具 (16.3.2)(表16.3.1)
(16.3.2)(表16.3.2)
(16.3.2)(表16.3.2)
(16.3.2)(表16.3.3)

16 建 具 工 事	4 樹脂製建具	ガラス ※複層ガラス・単板ガラス・三重ガラス (16.3.3) 表面色 標準色 ※ブラウン系・ブラック・ステンカラー (16.3.4) 水切り ※図示 (16.3.5) 防虫網 (16.2.3) 網の種類 ※合成樹脂製・ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式・固定式・図示 簡易気密型ドアットの性能の適用 (16.4.2)(表16.4.1) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 (16.4.2)(表16.2.1) ・S-4 ・S-5 ・S-6 鋼板類の厚さ(1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合) ※下表以外は表16.4.2による (16.4.4)(表16.4.2)	17 ガラス留め材	ガラス留め材 (16.14.2)(表9.7.1)	19 内 装 工 事	8 床用塗料塗り	材 質 樹脂樹脂系塗料 ※標準色・ 仕上種類 ※平滑仕上げ・防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m <sup>2</sup> 以上とする。	20 3 フ リ ー ア ン ド 7 0 7	(20.2.2)
	5 網戸	防虫網 (16.2.3)	18 ガラス用フィルム	ガラス留め材の種類 アルミニウム製 ※シリング材 ※ガスタ(FIX部はシリング材) 鋼製及び軽量鋼製 ※シリング材 ステンレス製 ※シリング材	9 防塵用塗料塗り	材 質 水性アクリル系塗料 ※標準色・ 仕上種類 コーティング(ローテ刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m <sup>2</sup> 以上とする。	10 フローリング張り	品 名 樹 種 種 別 工 法 現場学芸仕上げ ・フローリング材等 ※なら ・ 根太張り工法 ・ 行う ・ フローリング材等 ※なら ・ 直張り工法 ・ 行わない ・ 天然木化粧複合フローリング ※なら ・ A種 ・ 接着工法 ・ 行う ・ B種 ・ 行わない ・ C種	ユニ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事
	6 鋼製建具 (標準型鋼製建具を含む)	簡易気密型ドアットの性能の適用 (16.4.2)(表16.4.1) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 (16.4.2)(表16.2.1) ・S-4 ・S-5 ・S-6 鋼板類の厚さ(1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合) ※下表以外は表16.4.2による (16.4.4)(表16.4.2)	19 ガラス用フィルム	寸法(mm) 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色 調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ※無し ※無し	11 畳敷き	畳の種類 (19.6.2)(表19.6.1) ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(KT-I・KT-II ※KT-III・KT-K・KT-N)	12 セッコウボード その他のボード張り	種 類 JISの記号 厚さ(mm)・規格等 (19.7.2)(表19.7.1)	4 可動間仕切
	7 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量建具を含む)	簡易気密型ドアットの性能の適用 (16.5.2) ※適用する(適用箇所は建具表による)	18 1 業地ごしらえ	壁用金属枠及び補強材 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ・ 標仕16.2.3の7mm鋼製建具の材料による	12 セッコウボード その他のボード張り	畳の種類 (19.6.2)(表19.6.1) ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(KT-I・KT-II ※KT-III・KT-K・KT-N)	13 吸音材	種 類 JISの記号 厚さ(mm)・規格等 (19.7.2)(表19.7.1)	5 移動間仕切
	8 ステンレス製建具	簡易気密型ドアットの性能の適用 (16.4.2)(表16.4.3) ※適用する(適用箇所は建具表による)	2 錆止め塗料塗り	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	13 吸音材	種 類 JISの記号 厚さ(mm)・規格等 (19.7.2)(表19.7.1)	14 壁紙張り	種 類 JISの記号 厚さ(mm) (19.8.2)	6 トイレブース
	9 木製建具	外部に面する建具の耐風圧性 (16.6.2)(表16.2.1) ・S-4 ・S-5 ・S-6 表面仕上げ ※HL仕上げ・鏡面仕上げ (16.6.4) 曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ (16.6.5) かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3) ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10) マスターキー ※製作する(本) ・製作しない (16.8.4) 錠札数量 ・錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かぎ箱 市販品 形式 ・3.0組用 ・6.0組用 ・1.2.0組用 (16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1~4)	3 耐候性塗料塗り	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	14 壁紙張り	種 類 JISの記号 厚さ(mm) (19.8.2)	15 断熱材 打込み工法	断熱材の種類 厚さ(mm) (6.8.2)(19.9.2)	7 階段滑止め
	10 建具用金物	外部に面する建具の耐風圧性 (16.6.2)(表16.2.1) ・S-4 ・S-5 ・S-6 表面仕上げ ※HL仕上げ・鏡面仕上げ (16.6.4) 曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ (16.6.5) かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3) ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10) マスターキー ※製作する(本) ・製作しない (16.8.4) 錠札数量 ・錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かぎ箱 市販品 形式 ・3.0組用 ・6.0組用 ・1.2.0組用 (16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1~4)	4 誘導用、 注意喚起用床材	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	15 断熱材 打込み工法	断熱材の種類 厚さ(mm) (6.8.2)(19.9.2)	16 断熱材現場 発泡工法	断熱材の種類 厚さ(mm) (19.9.3)	8 階段手すり
	11 自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置の種類 引き戸用検出装置の種類 防 錆 ・SSLD-1 ・光線(反射)センサー ・電波センサー ・適用する ・SSLD-2 ・熱線センサー ・タッチセンサー ・適用しない ・SSLD-1 ・音波センサー ・押しボタンスイッチ ・SSLD-2 ・光電センサー ・多機能トルクスイッチ	5 帯電防止床材	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	16 断熱材現場 発泡工法	断熱材の種類 厚さ(mm) (19.9.3)	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他の工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	4 可動間仕切
	12 自閉式上吊り 引戸装置	凍結防止措置 ※行わない ・ 行う ( ) (16.9.3) ※適用する(適用建具及び適用位置は図示による) (16.10.1)	6 カーベツト敷き	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	2 耐震スリット	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他の工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	5 移動間仕切
	13 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防災シャッター 管理用シャッター及び外壁防火シャッターの耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> (16.11.2)	7 合成樹脂塗床	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	2 耐震スリット	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他の工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	6 トイレブース
	14 軽量シャッター	開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (16.11.2)(表16.11.1) 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない (16.11.2) 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (16.12.2) 外部に面するシャッターの耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> (16.12.2) スラット (16.12.3)(16.12.4)(表16.12.2)	8 カーテン及び カーテンレール	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	2 耐震スリット	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他の工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	7 階段滑止め
	15 オートヘッドドア	ゲイトレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) (表16.12.2) シャッターケース 厚さ(mm) ・0.4 ・0.8 (表16.12.2)	9 黒板及び ホワイトボード	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	2 耐震スリット	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他の工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	8 階段手すり
	16 ガラス	耐風圧性能による区分 ・5.0 ・7.5 ・10.0 ・12.5 (16.13.2) 下記以外は、建具表による (16.14.2) ・合わせガラス 特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス	10 ブラインド	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	2 耐震スリット	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他の工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	9 黒板及び ホワイトボード

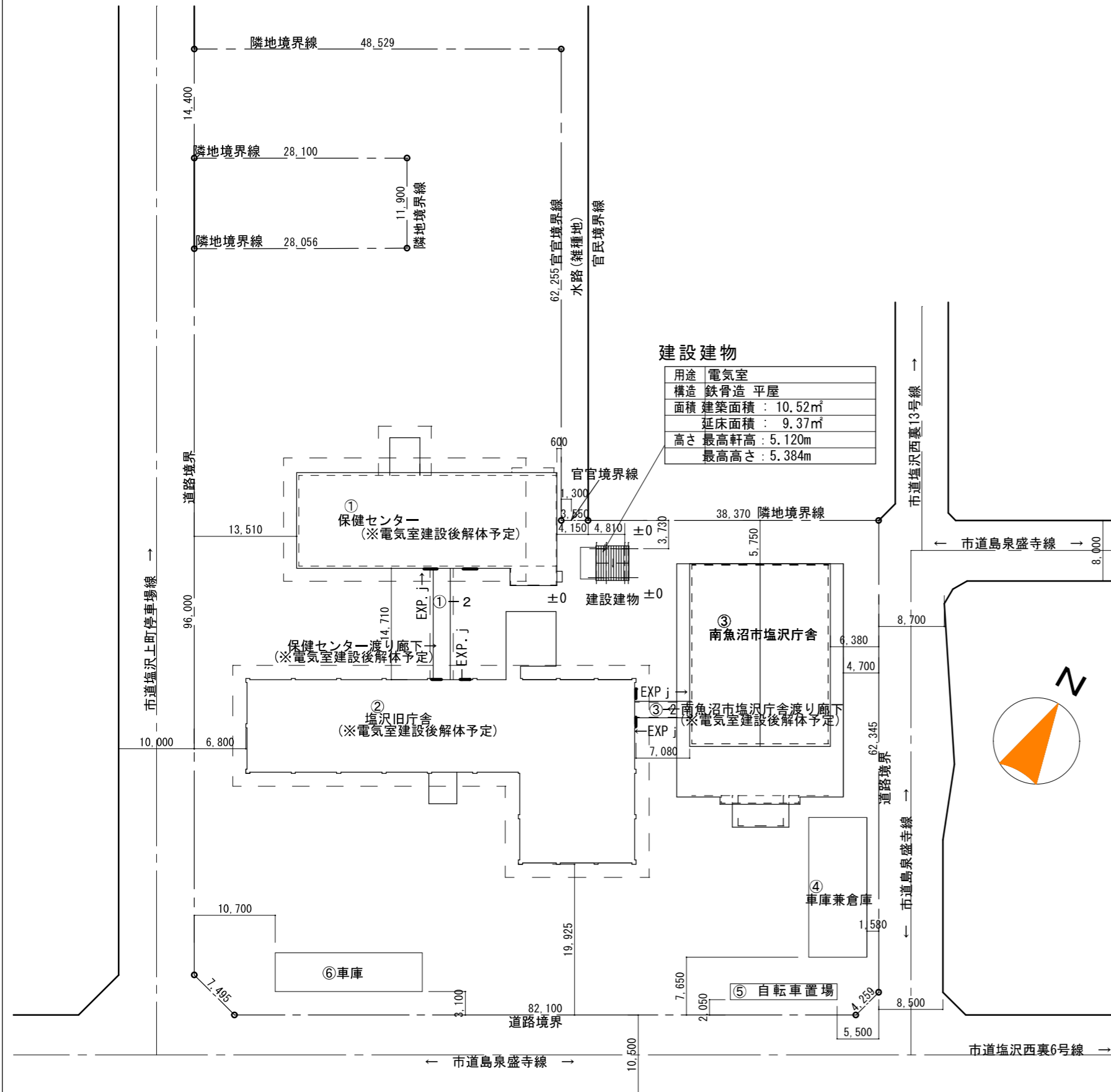
20 ユニツト及びその他工事
14 ビクチャーレール
15 天井点検口
16 床下点検口
17 積雪表示板
18 表示
19 くつふきマット
20 流し台ユニット
21 屋内掲示板
22 洗面カウンター
23 敷地境界石標
21 排水管
21 排水樹及びふた
3 埋戻し土
4 暗きよ、縁石及び側溝
22 盛土に用いる材料
22 凍上抑制層の材料
3 路床安定処理
4 路床の試験

5 路盤材料
6 路盤の締め度試験
7 アスファルト舗装
8 コンクリート舗装
9 カラー舗装
10 透水性アスファルト舗装
11 ブロック系舗装
12 区画線
23 1 土壌の試験
23 2 樹木の植栽基準整備
3 植込み用土
4 土壌改良材
5 支柱材
6 幹巻き用材料
7 芝張り

8 枯補償及び枯損処理
9 屋上緑化システム
21 公共事業労務費調査への協力
22 工事監理方式
3 適用基準等
4 総合図
5 工事成績評定
6 工事区分表
7 発生材の処理等
1 再生資材の利用
2 建設発生土の利用
電気関係
電気配管配線
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)
天井材
床はつり補修
流し台、ガス台
便所手洗いカウンタ
洗面化粧台
ガス漏れ警報器
24H換気扇
連動スイッチ
湯沸器
連動スイッチ

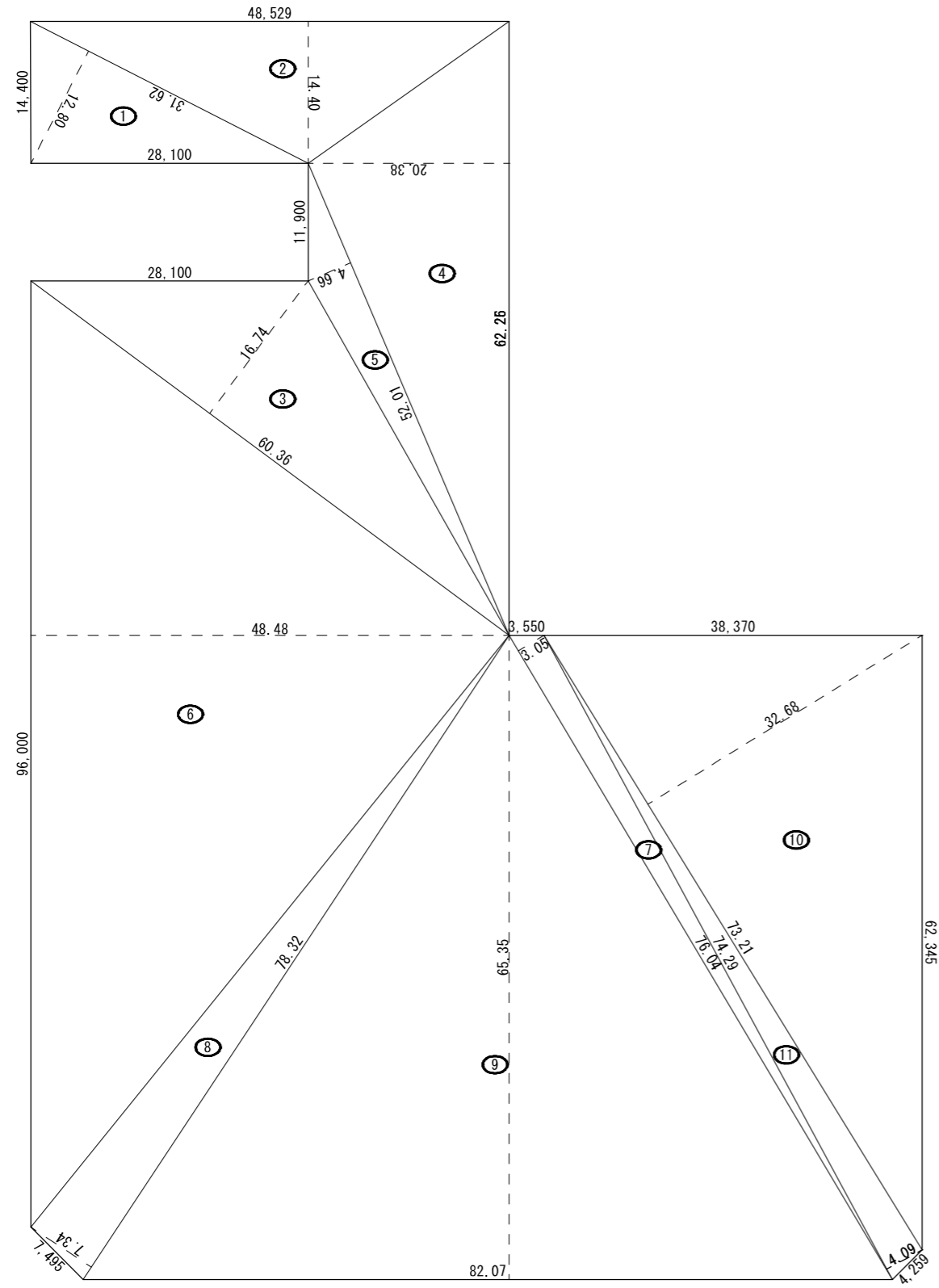
24 追加特記
建設発生土の搬出
受入工事名/施設名称
工事場所/施設所在地
連絡先
仮置場所の有無
備考
建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。
搬出する廃棄物名
処理施設名称
施設所在地
連絡先
備考
表上は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。
建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、
自前産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件にやりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。
8 化学物質の濃度測定
1)測定時期
2)測定対象物質
3)測定室
4)測定方法
測定機器
測定要領
5)測定結果の分析
6)測定結果が指針値を超えた場合の措置
7)報告書の提出
9 中間技術検査
本工事は、中間技術検査を1回実施する。

工事箇所: 南魚沼市
工事名: 塩沢庁舎発電機屋根新設工事
所属年度: 令和4年度
尺度: NS
図面番号: A-4



既存建物 用途・構造・面積			
用途	① 保健センター	用途	③-2 庁舎渡り廊下
構造	鉄筋コンクリート造：地上3階PH1階	構造	鉄筋コンクリート造：地上1階
面積	建築面積 : 510.64㎡ 延床面積 : 1162.42㎡	面積	建築面積 : 9.30㎡ 延床面積 : 9.30㎡
	1階 410.18㎡	高さ	軒高 : 4.95m
	2階 370.18㎡		最高高さ : 5.3m
	3階 370.18㎡		
	PH 11.88㎡	用途	④ 車庫兼倉庫
高さ	軒高 : 11.5m	構造	鉄骨造：地上2階
	最高高さ : 12.2m	面積	建築面積 : 137.25㎡
用途	①-2 保健センター渡り廊下	延床面積	274.50㎡
構造	鉄骨造造：地上2階1階通路		1階 137.25㎡
面積	建築面積 : 30.00㎡		2階 137.25㎡
	延床面積 : 60.00㎡	高さ	軒高 : 8.9m
	1階 30.00㎡		最高高さ : 9.05m
	2階 30.00㎡		
高さ	軒高 : 7.95m	用途	⑤ 自転車置場
	最高高さ : 8.05m	構造	鉄骨造：地上1階
		面積	建築面積 : 28.00㎡
用途	② 旧庁舎	延床面積	28.00㎡
構造	鉄筋コンクリート造：地上3階PH2階	高さ	軒高 : 2.06m
面積	建築面積 : 958.99㎡		最高高さ : 2.15m
	延床面積 : 1883.56㎡		
	1階 860.58㎡	用途	⑥ 車庫
	2階 539.68㎡	構造	鉄骨造：地上1階
	3階 446.48㎡	面積	建築面積 : 96.25㎡
	PH 36.82㎡	延床面積	96.25㎡
高さ	軒高 : 11.5m	高さ	軒高 : 2.47m
	最高高さ : 11.9m		最高高さ : 2.57m
用途	③ 南魚沼市塩沢庁舎	既存部分面積合計	建築面積
構造	鉄筋コンクリート造：地上3階PH1階	① 保健センター	510.64㎡
面積	建築面積 : 673.25㎡	①-2 保健センター渡り廊下	30.00㎡
	延床面積 : 1689.30㎡	② 旧庁舎	958.99㎡
	1階 521.20㎡	③ 南魚沼市塩沢庁舎	673.25㎡
	2階 523.50㎡	③-2 庁舎渡り廊下	9.30㎡
	3階 627.06㎡	④ 車庫兼倉庫	137.25㎡
	PH 17.54㎡	⑤ 自転車置場	28.00㎡
高さ	軒高 : 12.1m	⑥ 車庫	96.25㎡
	最高高さ : 16.893m	合計	2507.04㎡
			延床面積
			1162.42㎡
			60.00㎡
			1883.56㎡
			9.30㎡
			274.50㎡
			28.00㎡
			96.25㎡

工事名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図面名	配置図		
所属年度	令和 4年度		
尺度	1:600	図面番号	A-5
工事箇所	南 魚 沼 市		



番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
①	31.62	12.80	404.7360	202.36800
②	48.53	14.40	698.8320	349.41600
③	60.36	16.74	1,010.4264	505.21320
④	62.25	20.38	1,268.6550	634.32750
⑤	52.01	4.66	242.3666	121.18330
⑥	96.00	48.48	4,654.0800	2,327.04000
⑦	76.04	3.05	231.9220	115.96100
⑧	78.32	7.34	574.8688	287.43440
⑨	82.07	65.35	5,363.2745	2,681.63725
⑩	73.21	32.68	2,392.5028	1,196.25140
⑪	74.29	4.09	303.8461	151.92305
合 計				8,572.75500
敷地面積				8,572.75 m <sup>2</sup>

工 事 名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図 面 名	敷地面積求積図		
所属年度	令和 4 年度		
尺 度	1 : 6 0 0	図面番号	A - 6
工事箇所	南 魚 沼 市		



工事名称	工事名称	塩沢庁舎電気室新築及び付帯工事	建築主	南魚沼市長 林 茂男
	建設地 (地名地番)	新潟県南魚沼市塩沢1370番地1	住所	〒949-6492 新潟県南魚沼市六日町180番地1
	主要用途	庁舎(電気室)	工期	着工 竣工
	工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・室内装飾・用途変更(大規模の模様替) 仮設建築・解体・移設・移転・その他( )		



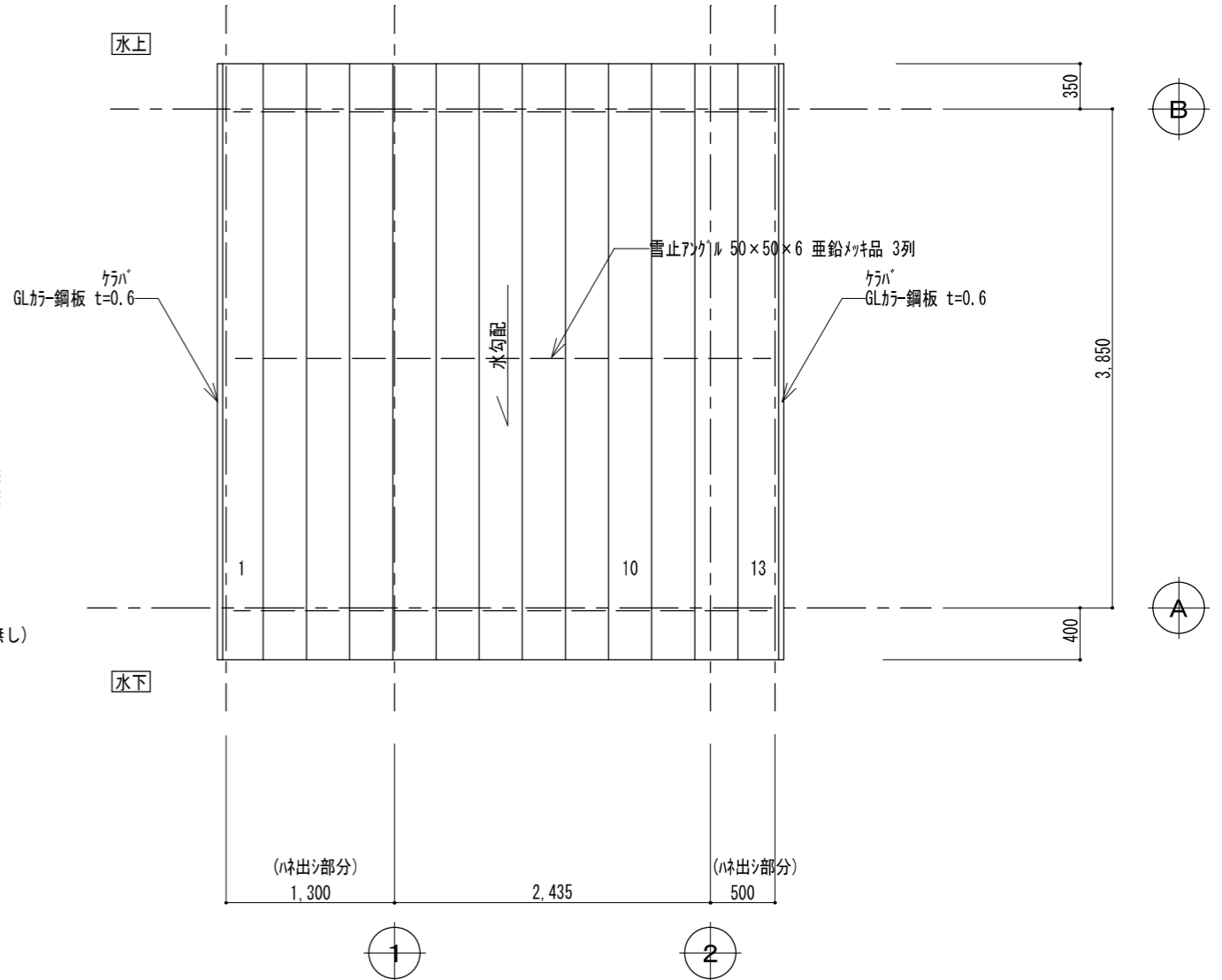
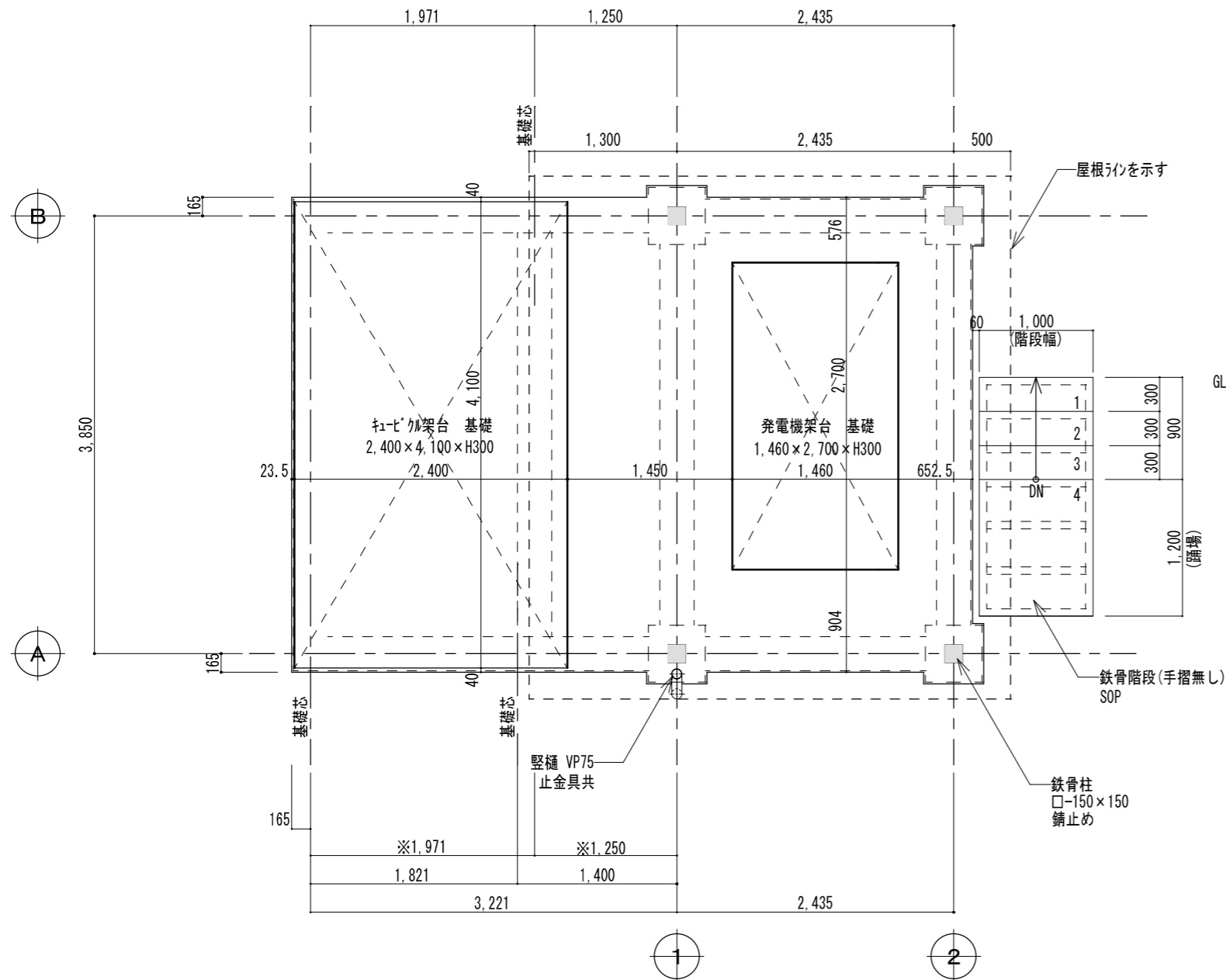
敷地状況	敷地面積	公簿: 8572.75 m <sup>2</sup> (坪) 実測: m <sup>2</sup> (坪)	建蔽率	基準建蔽率 60%
	用途地域	低層住居専用地域(第 種)・中高層住居専用地域(第 種)・住居地域(第 1 種) 準住居地域・近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域・工業専用地域 指定なし	容積率	基準容積率 200%
	防火地域	防火地域・準防火地域・指定なし・特定行政庁の指定地域・22条区域	日影制限	
	その他の地域地区	都市計画区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別用途地区・特別工業地区・美観地区・再開発事業区域・特定街区・改良地区・文教地区(第 種) 風致地区(第 種)・高度地区(第 種)・高度利用地区・駐車場整備地区・流通業務地区・災害危険地区・緑地保全地区・文化財保存地区・土地区画整理事業地区 宅地造成工事規制区域・臨港地区( )・その他( )		

構造・規模	構造	RC造・SRC造・PC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB造・木造・その他( )	階数	(B ) (F 1 ) (P )
	構造形式	ラーメン・壁・立体トラス・シェル・折板・その他( )	最高高さ	平均地盤面より PH GL+5.384 m ( m)
	基礎	地盤支持(ベタ・布・独立)・その他( ) 杭支持(RC杭・PC杭・アースドリル・ベント・深礎)・その他( )	最高軒高	平均地盤面より GL+5.120 m
	コンクリート	土間 Fc=18 N/mm <sup>2</sup> 基礎 Fc=21 N/mm <sup>2</sup>	その他	
	鉄筋	SR235・SD295・SD345・SD390・その他( )		
	鉄骨	SN400B・SS400・BCR295・STK400・STKR400・SSC400・SR235・その他( )		
	その他			

区分	部位	仕上	備考
屋根	屋根	ハセ式 ガーGL鋼板折板葺き H=168 W=333 70.8mm 付属金物一式	
	ケラバ	ガーGL鋼板加工取付70.6	雪止めアンクル取付(亜鉛メッキ品) 50×50×6
	面戸	面戸	
	雨樋	折板用 130タイプ 行樋-VUφ75 1ヶ所 受け物共	
鉄骨	柱・梁	錆止め (JIS K-5674)	
その他	犬走り	コンクリート即時金鏝 7120mm ワイヤメッシュ φ6×150 砕石 7150mm	
	地覆	コンクリート打放シ 補修 打継(15×15) シーリング	
	階段	踏面部分-縞鋼板 CPL-6 SOP 蹴込部分-OPEN 骨組部分-L-65×65×6 SOP	

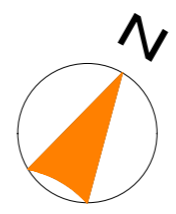
階	室名	床		壁		天井		備考
		床レベル						
1	全体床	コンクリート即時金鏝	±0	無	鉄骨表し SOP	無	鉄骨表し SOP	SOP F☆☆☆☆ コーナ面木取付
	キュービクル基礎	コンクリート即時金鏝	+300					コーナ面木取付
	発電機基礎	コンクリート即時金鏝	+300					コーナ面木取付

工事名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図面名	設計概要・仕上表・付近見取図		
所属年度	令和 4年度		
尺度	図面番号	A-7	
工事箇所	南 魚 沼 市		

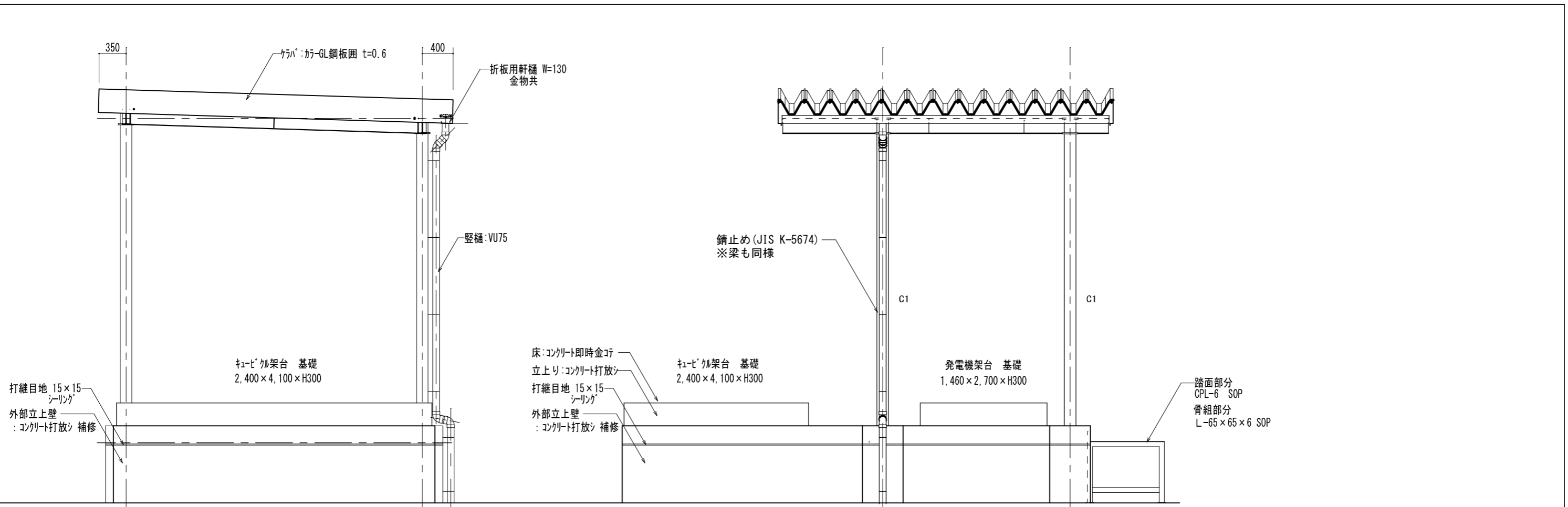


面積表 S=1:150

建築面積	①	3.850 × 2.435	=	9.374	
	②	3.850 × 0.30	=	1.155	
				10.529	10.52㎡
床面積	①	3.850 × 2.435	=	9.374	9.37㎡

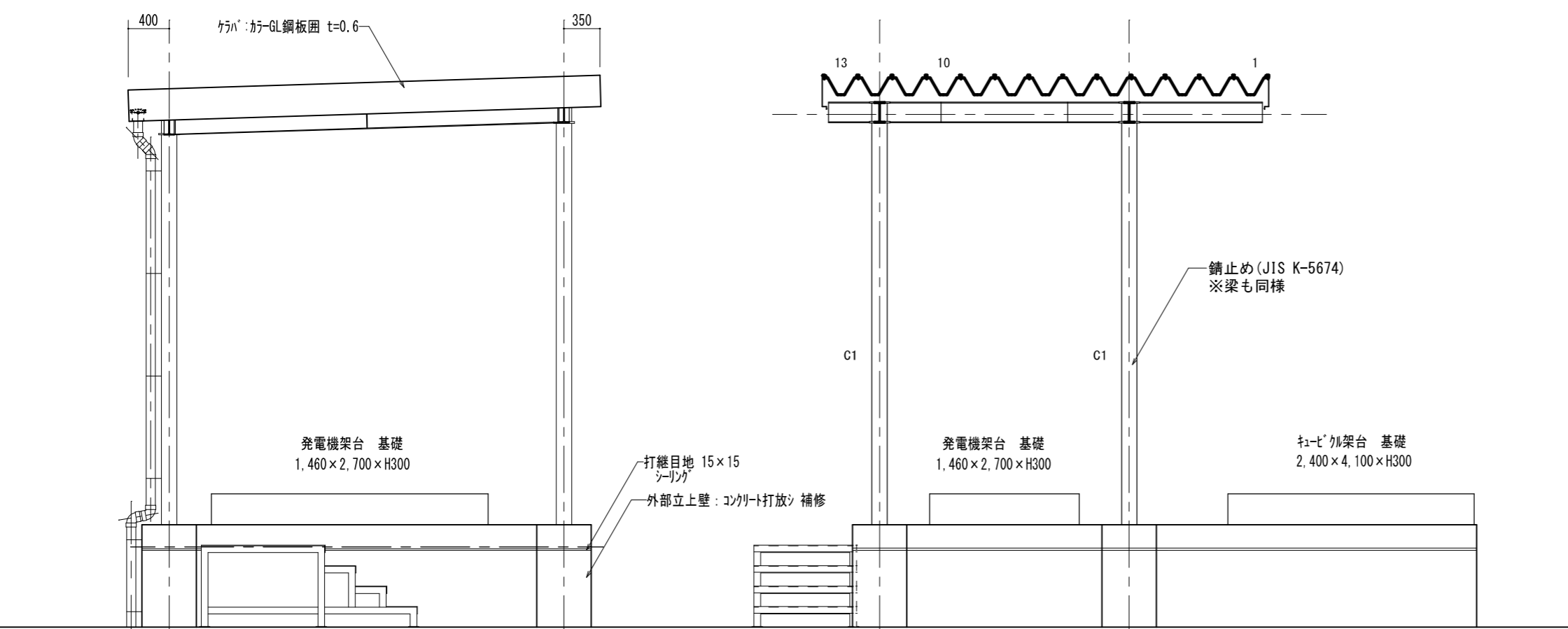


工事名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図面名	平面図		
所属年度	令和 4 年度		
尺度	1:100 1:150	図面番号	A-8
工事箇所	南 魚 沼 市		



西側立面図

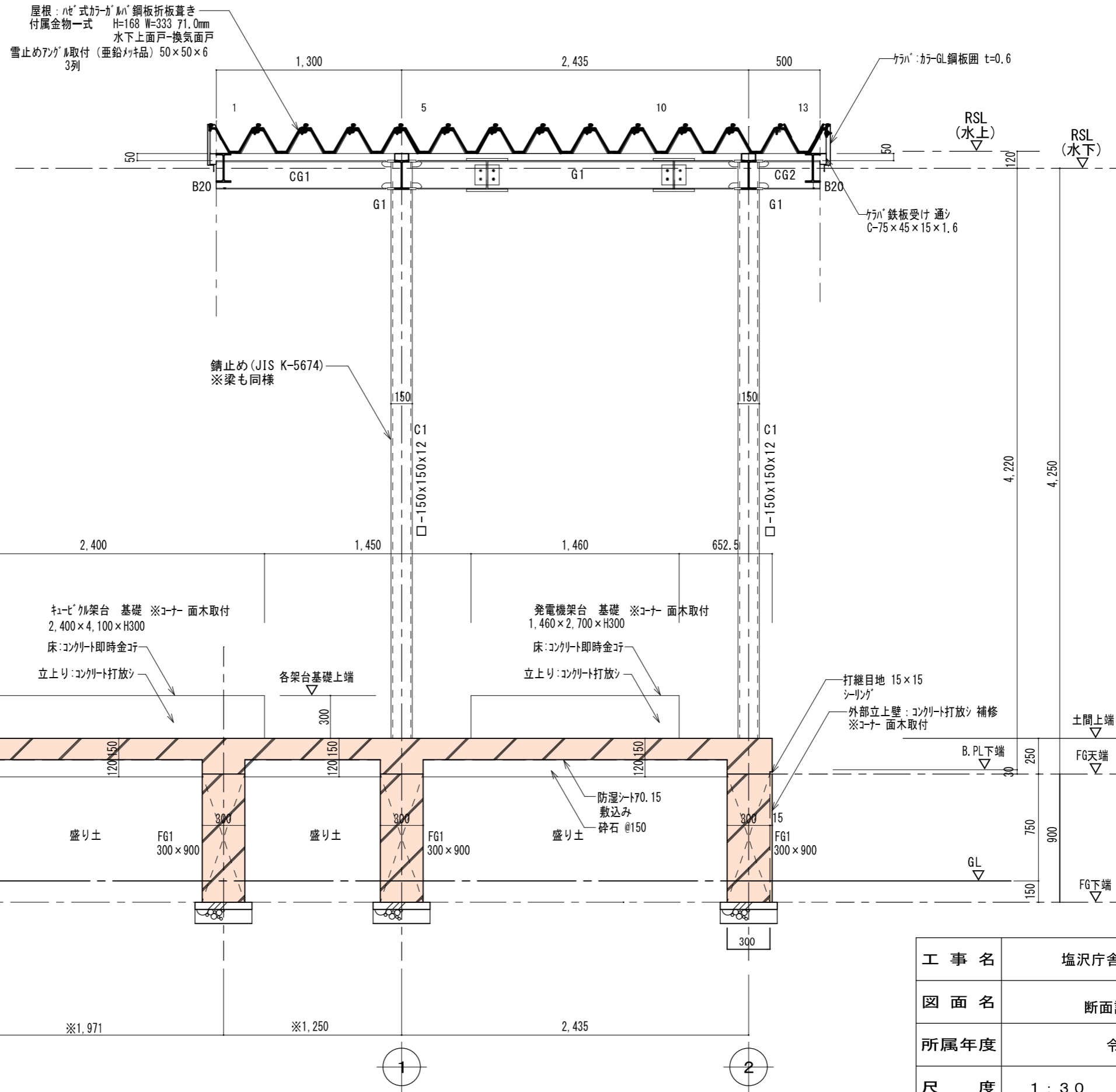
南側立面図



東側立面図

北側立面図

工事名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図面名	立面図		
所属年度	令和 4 年度		
尺度	1 : 50	図面番号	A-9
工事箇所			



屋根:ハゼ式カマ鋼板折板葺き  
 付属金物一式 H=168 W=333 71.0mm  
 水下上面戸-換気面戸  
 雪止めアングル取付 (亜鉛メッキ品) 50×50×6  
 3列

カマ鋼板厚 t=0.6

カマ鋼板受け 通シ  
 C-75×45×15×1.6

錆止め(JIS K-5674)  
 ※梁も同様

キューブ加架台 基礎 ※コーナー 面木取付  
 2,400×4,100×H300  
 床:コンクリート即時金工  
 立上り:コンクリート打放シ

発電機架台 基礎 ※コーナー 面木取付  
 1,460×2,700×H300  
 床:コンクリート即時金工  
 立上り:コンクリート打放シ

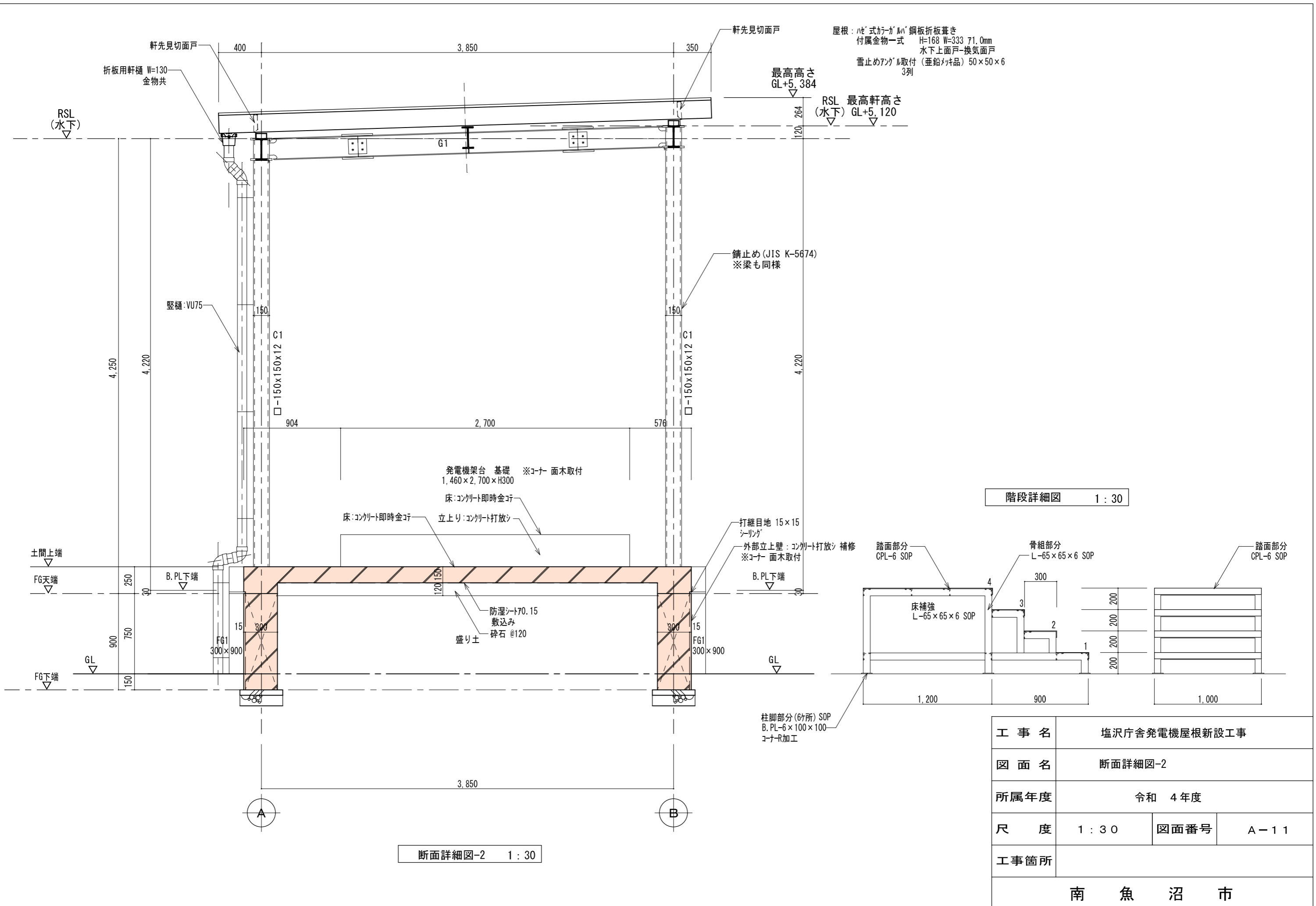
打継目地 15×15  
 シーリング  
 外部立上壁:コンクリート打放シ 補修  
 ※コーナー 面木取付

打継目地 15×15  
 シーリング  
 外部立上壁:コンクリート打放シ 補修  
 ※コーナー 面木取付

断面詳細図-1 1:30

※印の寸法は、測量後現地確認の上再度調整

工事名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図面名	断面詳細図-1		
所属年度	令和 4年度		
尺度	1:30	図面番号	A-10
工事箇所	南魚沼市		



屋根:ハレ式カラーガルバ鋼板折板葺き  
 付属金物一式 H=168 W=333 71.0mm  
 水卜上面戸-換気面戸  
 雪止め70.15取付 (亜鉛メッキ品) 50 x 50 x 6  
 3列

階段詳細図 1:30

断面詳細図-2 1:30

工事名	塩沢庁舎発電機屋根新設工事		
図面名	断面詳細図-2		
所属年度	令和 4年度		
尺度	1:30	図面番号	A-11
工事箇所	南魚沼市		